

展覧会

『ガリヴァー旅行記』300年

The 300th Anniversary of Gulliver's Travels

# Gulliver and the

## Gulliver and the World of Wonder — Aspects of Curiosity and the Eighteenth-Century Britain

June 1 (Mon.) – July 30 (Thurs.) 2026 11:00–18:00

[Closed Saturdays, Sundays, Public Holidays, June 15 and July 13]

Special opening Saturdays | June 13, July 11

Admission free. No booking required.

Keio Museum Commons (East Annex, Keio University Mita Campus)

Organised by Keio Museum Commons

Co-curated by Noriyuki Harada (Professor, Faculty of Letters, Keio University)

Cooperated by Keio University Mita Media Center,

Keio University Hiyoshi Media Center, Asa Hiramatsu,

Tazuo Matsubishi Collection



Aspects of Curiosity and the



ガリヴァーと奇想天外! ワンダーランド

18世紀イギリスのはじける好奇心

2026年6月1日[月]—7月30日[木] 11:00–18:00

[土日祝、6月15日[月]、7月13日[月] 休館] 土曜特別開館 | 6月13日、7月11日 入場無料・予約不要

慶應義塾ミュージアム・commons (三田キャンパス 東別館)

[主催] 慶應義塾ミュージアム・commons [共同企画] 原田館行 (慶應義塾大学文学部 教授)

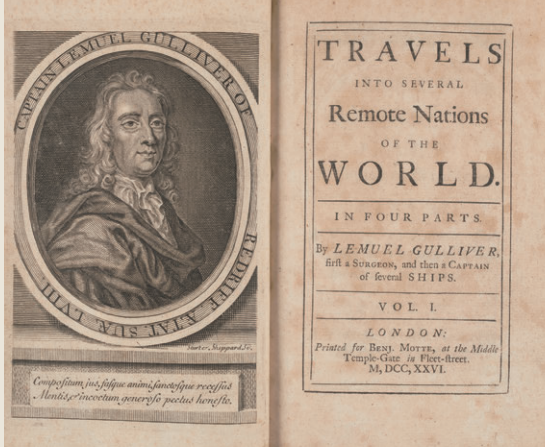
[協力] 慶應義塾大学三田メディアセンター、慶應義塾大学日吉メディアセンター、平松麻、松多津男コレクション (青木和)

Gulliver's Travels, foreword  
by George Saintsbury,  
Jonathan Swift, 1886  
(個人蔵)

# Eighteenth-Century Britain

300年にわたって世界中の読者の心をざざめかせてきた『ガリヴァー旅行記』。ユーモラスかつ強烈にシニカルなガリヴァーの、变幻自在な視点、あらゆるものを多義的に、あらゆる角度から見てみようとする好奇心、そこから出ずる想像と創造の大きな広がり——『ガリヴァー旅行記』の旅の面白さはこうした点にあります。鎖国中の日本にも来てしまう主人公の奇想天外な冒険と、そこに秘められた作者スウィフトのメッセージを、近代を歩み始めたばかりの人間社会の相貌とともにご覧ください。

For three hundred years, *Gulliver's Travels* has stirred the hearts of readers around the world. Gulliver is humorous and fiercely cynical. His viewpoint shifts freely; his curiosity drives him to see everything from every angle, to find more than one meaning in whatever he meets. From this curiosity comes a great breadth of imagination and invention — and that is where the essence of *Gulliver's Travels* exists. Gulliver's fantastical adventures even bring him to Japan, still closed off from the world. We invite you to explore those adventures, the messages Swift embedded within them, and human society as it was, only just setting out on the road to modernity.



Gulliver's Travels, Jonathan Swift, 1726 (個人蔵)



Leviathan, Thomas Hobbes, 1651 (慶應義塾図書館所蔵)※



Gulliver and King of Brobdingnag, James Gillray, 1803 (個人蔵)



Gulliver's Travels, illustrated by Arthur Rackham, Jonathan Swift, 1914 (個人蔵)



Map of Japan, Hermann Moll, 1727 (個人蔵)

## 【展示構成】(予定)

### ガリヴァー、登場!

『ガリヴァー旅行記』は、1726年の刊行当初から好評を博し、各国語版に翻訳され、「大人から子どもまで」多くの読者に熱心に読まれていたと記録されています。でも、『ガリヴァー旅行記』は、決して絵本や子ども向けの本ではありませんでした。かなり重厚な当時の版本を見つつ、でもそういう重厚本のあちこちに埋め込まれた「笑い」を感じてみてください。

### 諷刺と物語と

『ガリヴァー旅行記』は、よく諷刺作品だと言われます。でも、諷刺って何でしょうか? 単なる批判や皮肉とは違います。そういう批判や皮肉を偉そうに言っている自分自身こそが愚かに見えてしまう—これが、ガリヴァーの諷刺です。そのような眼差しで、人間社会を、政治を、海外の国々を、科学の世界を、そして人間の身体をじっと見つめ、よいところも目をそむけたくるところもぜんぶまとめて冒険譚の形に仕上げたのが『ガリヴァー旅行記』なのです。

### 視点を変える、遊んでみる

例えば縮尺を変えてみる—私たちがスマートフォンで地図や写真を見るときのお馴染みの動作ですが、もし、同じことが現実起きたとしたら? 驚天動地どころではありませんね。ガリヴァーは、そのような視点の変換を、あまり深刻になることなく平然とやっつけています。これがなんとと言っても彼の好奇心の源泉ですし、近代初期のイギリスには、そうした好奇心が満ち満ちていました。

### 『ガリヴァー旅行記』と日本

ガリヴァーが日本へやって来るという話は、いわば「本場」であるはずの日本であまり知られていません。ところがこの日本渡航記の背後には、ウィリアム・アダムズやエンゲルベルト・ケンペルなどをはじめとする日英交流史上の重要人物たちがもたらした事実がありました。実は、日本との交流が『ガリヴァー旅行記』成立の重要な鍵を握っている可能性も? 慶應義塾の有する日本の貴重な古典籍を助け手に『ガリヴァー旅行記』に秘められた東西交流の実相を探ってみましょう。

## 【関連プログラム】

### 講演会『ガリヴァー旅行記』300年——冒険・諷刺・好奇心・遊び・日本』(仮)

2026年7月10日[金] 18:30- | 慶應義塾大学三田キャンパス 北館ホール

登壇者: 原田範行(慶應義塾大学文学部 教授)ほか(詳細はウェブサイトでご確認ください)

どなたでもご参加いただけます。(入場無料、事前予約制、6月10日[水]予約開始)

※その他、展覧会に関連したプログラムの情報を展覧会ウェブサイトでご公開しています。

### 【次回展】

KeMCo現代アート展:津田道子個展

2026年10月下旬~12月中旬(予定)

### 【アクセス | Access】

- ・田町駅(JR山手線/JR京浜東北線)徒歩8分
- ・三田駅(都営地下鉄浅草線/都営地下鉄三田線)徒歩7分
- ・赤羽橋駅(都営地下鉄大江戸線)徒歩8分
- ・Tamachi Station (JR Yamanote Line/Keihin Tohoku Line) 8 minutes on foot
- ・Mita Station (Toei Subway Asakusa Line/Mita Line) 7 minutes on foot
- ・Akabanebashi Station (Toei Subway Oedo Line) 8 minutes on foot

### 【お問い合わせ | Contact】

慶應義塾ミュージアム・commons (KeMCo) | Keio Museum Commons  
〒108-8345 東京都港区三田2-15-45 | 2-15-45 Mita, Minato-ku, Tokyo, 108-8345, Japan  
Tel: 03-5427-2021 | hello@kemco.keio.ac.jp | https://kemco.keio.ac.jp/



『蓬萊山』, 江戸時代 (Nara-ehon Horaisan, Edo period) (個人蔵)

※以外の撮影=村松桂(株式会社カロワークス)



詳細はWEBで